

国際電気標準会議（IEC）の IEC1906 賞を受賞

この度、当社社員である技術部上席部長 石田武志が国際電気標準会議（IEC：注1）の「IEC1906 賞」を受賞し、10月2日に経済産業省が主催する「平成28年度工業標準化事業表彰式」において同賞が授与されました。

IEC1906 賞は、IEC の技術活動に関連し、電気技術の標準化およびその関連活動へ大きく貢献した専門家へ授与されるもので、IEC 創立から 100 周年を迎えたことを記念して 2004 年に設立された賞で 2018 年は日本人 31 名の方々が受賞されました。

【受賞理由】

IEC TC77 SC77B（電磁両立性（EMC）の高周波現象の委員会）で審議している静電気放電試験の基本規格 IEC 61000-4-2 の改正作業において、解明が十分に行われていない様々な静電気放電現象を実験・解析し、規格原案に反映することで、試験再現性の向上に貢献しました。これにより関連する製品規格などの EMC 試験の効率化に寄与することが期待されます。

【受賞のコメント】

長年にわたり、国際規格のエキスパート委員として EMC の基本規格の改正作業に携わり、日本の意見及び技術的見解を提案してきました。この度、自身の研究テーマでもある静電気放電の研究成果が評価され、規格に反映されることは非常に嬉しく、今後の標準化活動及び更なる研究の励みとなります。ご支援、ご協力いただいた方々に感謝申し上げます。

【関連情報】

[平成30年度工業標準化事業表彰の受賞者を発表します（経済産業省）](#)

（注1）IEC (International Electrotechnical Commission)

国際電気標準会議。電気・電子技術分野の規格を国際的に統一することにより、グローバルな経済発展と国際貿易の更なる促進を目的として活動。

